

寒河江川さぼう

国土交通省 東北地方整備局
新庄河川事務所
寒河江川砂防出張所



第56号 平成27年1月



あけましておめでとうございます。

今年も土砂災害を防ぎ安全・安心に暮らせる地域を目指して、寒河江川流域の砂防事業・志津地すべり対策事業を実施して参りますので、地域の皆様には、工事に対するご理解とご協力をお願いいたします。



～各工事の状況をお知らせします～

1 志津地すべり中沼沢川溪流保全工工事

平成24年7月の出水で大きな被害を受けた中沼沢川において、溪流(流路)の保全及び河床の安定を目的とした異形ブロック積みによるえん堤及び流路工の施工を進めており、今年度は、上流部の40mの流路工をつくりました。

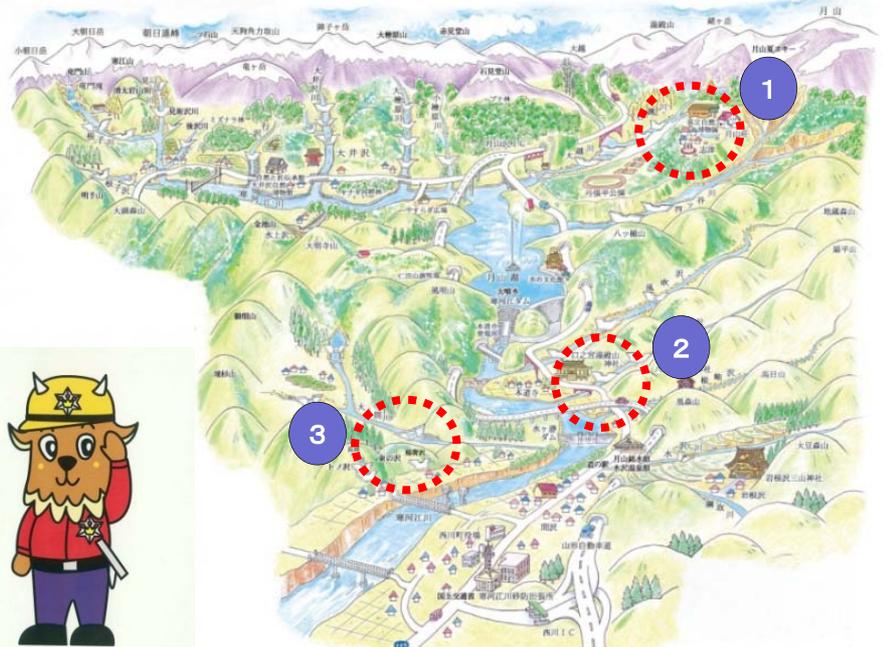


2 本道寺整備工事



管理用道路兼工事用道路が昨年7月に完成しました。

来年度は、いよいよ砂防えん堤本体に着手する予定です。



3 東ノ沢砂防えん堤工事

昨年度から施工しておりました、下流側の第1砂防えん堤が昨年12月に完成しました。

来年度は、引き続き上流の第2砂防えん堤の工事を施工する予定です。



えん堤着工前



第1砂防えん堤完成

引き続き安全施工に努めて参ります。



作業時の安全対策や危険となり得る箇所の有無などを細かく点検！

11月27日(木)、大石田出張所管内において村山地区第2回安全パトロールを実施しました。今回は、3箇所の工事現場を点検し、作業時の安全対策や危険となりうる箇所の有無などを細かく点検しました。検討会では、パトロールした現場の良かった点、改善すべき点について意見交換しました。



23名が参加



点検状況



検討会の様子

安全施工優良企業（現場代理人）表彰式が行われました

12月12日(金)、新庄河川事務所において、安全施工優良企業（現場代理人）表彰式が行われました。

寒河江川砂防出張所管内からは、「東ノ沢砂防えん堤工事」を施工中の國井建設(株)小野 彰大さんが、「工事事故防止に積極的に取り組み安全施工に貢献した」として表彰されました。



おめでとうございます！



工事状況



表彰を受ける小野さん

こんなとき・・・雪崩の危険信号です！



雪崩の速度

表層雪崩

ブレーキの位置

全層雪崩

雪崩の速度は、雪崩の密度、層厚などの要因によっていろいろです。おおむね、表層雪崩の場合は100～200km/hと新幹線並みの速度。また、全層雪崩の場合は40～80km/hと自動車並みの速度とされています。新幹線と自動車では、ブレーキをかけてから止まるまでの走行距離がちがうのと同様に、表層雪崩の方がより遠くまで流下します。

雪崩の種類

雪崩とは山腹に積もった雪が重力の作用によって、崩れ落ちる現象をいいます。また、すべり面の位置の違いによって大きく表層雪崩と全層雪崩の2つに分けられます。

表層雪崩

全層雪崩

気温が低く、降雪が続く1、2月は、**表層雪崩**が発生しやすい時期です。
「降雪や降雨の後、天気が良く気温が上がったとき」や**「気温が低く古い雪の上に多量の新雪が積もったとき」**は、特に注意しましょう。
 危険を感じた場合は、速やかにその場から離れ、安全を確保しましょう。

皆さんの声をお待ちしています

本誌をご覧いただいた感想や砂防事業、国土交通省の事業へのご意見、ご質問等をお寄せください。

新庄河川事務所 寒河江川砂防出張所
 〒990-0702 西川町大字海味字下モ山916-2
 TEL 0237-74-2366 FAX 0237-74-2801
<http://www.thr.mlit.go.jp/shinjou/>

担当:事務係 小林